



特集

収納上手な 家のつくり方

新築を建てた人の後悔ポイントとして、上位にあげられることが多い収納。実際に暮らしてみたら、物をしまうスペースが足りない、収納がしにくい場所だった...など、さまざまな後悔ポイントが...。そこで今回は、収納に焦点を当て、収納上手な家づくりのヒントを探ります。また、気持ちよく新年度を迎えるために、知っておきたい、今すぐ取り入れられる収納メソッドもプロに伝授してもらいます。



使いたい場所に使いたい物があり、物ありきで収納を考えたお住まいは、今日もスッキリと、収納美が保たれています。

奥様の趣味は、「子どもたちの写真を使ったアルバムづくり」。みんなが集まるリビングに、可動式の造作棚を設置して、いつでも一緒にアルバムを見られるようになりました。

また、スキップフロアの床下は、設計士からの提案で「収納スペースに」。将来的には、単身赴任がある夫の荷物を置きますが、今は子どもたちのおもちゃを収納。定位置が決まったことで、子どもたちもきちんと把握して片付けてくれます」。さらに、床下収納の横には、階段下に収まる棚も設置。財布や鍵など、ついつい置きっぱなしになるアイテムが入ります。欲しいかった棚にあわせて、階段下を少し広げて設計してもらったそうです。

物ありきで収納を考える
「収納美」を保つ家



A

脱衣室の造作カウンター

収納ケースのサイズに合わせて造作したカウンター。部屋干しスペースでもあり、服を畳んですぐに仕舞える。

広い床下収納

スキップフロア下の床下収納には、子どものおもちゃなどを収納。秘密基地みたいで、遊ぶのにも楽しいスペース。



B



間取りからみる
収納上手ポイント！

キッチン横の収納棚

設計上、パントリーの配置が難しかったことから、代わりに大容量の棚を設置。食品やお出かけグッズなどたっぷり収納可。



C

洗面所のこだわり造作棚

無印良品のラタンの収納ケースを使うことを前提にした造作棚。コンタクト用品を置くためのニッチを設けた。



D



ご夫婦と3人のお子さまで、5人家族のお客様。転勤族のご家族ならではの家づくりでのこだわりや、現在の暮らしについてお話いただきました。

収納ケースに合わせて
びったりの造作棚を設置

「掃除はあまり好きではないのですが、もともと、きれいに収納することは好きなんです」と話す奥様。そのため、家づくりでは物が散らかつて掃除がしにくくなるのを避けるため、「収納をしっかりとって、情報収集をしました」。

参考にしたのは、主にイン스타그램。「無印良品が好きなので、その収納ケースを活用した収納方法もチェックしました」。スペースにぴったりと置くために、先にひとつだけ収納ケースを購入。「実際に棚に何個置けるか計算したり、シンデレラフィットになるように収納棚を数センチ広げてもらったり。インテリアコーディネーターの方にも相談して、和室の壁をその分薄くしていただきました」と話します。

物の positioning が決まっていれば、家族が収納上手に
たっぷりの収納は、片付けがしやすい場所にある

収納上手な家を生かす 4つの基本 メソッド

自分や家族の
行動に
注目すると
収納は
もっとラクに！



上手に収納するための基本は、「適量」「定位置」「捨てる」の三つを押さえること。その際にやりがちな行動を知って、無理のない収納方法を選びましょう。

前田 真理さん

1級家事セラピスト・整理収納アドバイザー1級等の資格を有し、鹿児島市にて「暮らし学会。」を主宰、ライターとしても活動。

ここまで収納上手な家にするための、ハード(=入れ物)を見てきました。この家を生かすためには、ソフト(=どう収納するか?)という視点も欠かせません。そこで今回は、1級家事セラピストの前田真理さんに、収納の基本メソッドを教えてくださいました。



1

収納の前にモノの整理を

上手な収納のコツは「使う」モノだけを収納すること。「使わない」モノを処分するだけでなく、「わからない」と迷ったモノは「使う」に戻さず、まとめておき、時々見直します。



3

「縦 & 立」で使いやすく

収納の極意は、取り出しやすくしましやすいこと。動作に無理のないことがカギです。同種類のモノは縦に並べると奥が一目瞭然。立てて収納するのもこだわってみて。



2

管理できる量を収納する

子ども部屋が散らかりがちなのは、自分で管理できる量を超えたモノを持っているから。これは大人も同じです。今使わないおもちゃは親が預かってもいいですね。持つ量を調整して。



4

定位置管理ができる工夫を

探し物をする原因は、モノを収納する場所が定まっていないことが多いものです。決めても戻しづらい場合はラベリングを。ラベルのある所に戻すのは、案外気持ちのいいものですよ。

ヤマサハウスの収納上手な家

collection

ヤマサハウスでは、住まう人のライフスタイルに合わせた、収納上手な家づくりのご提案を行っています。なかでも、あると便利な収納事例と、プラン作成時に役立つ設計士からのアドバイスをご紹介します。

● シューズクローク

家族のニーズに合わせて

大容量のシューズクロークは、靴以外の収納も可能。例えば、ベビーカーやアウトドアグッズ、ゴルフバッグ、子どもの部活や習いごとのアイテムもすっきりと収納できる。



こちらの先には？

● 小上がり和室収納

空間を有効活用できる 収納スペースに

小上がりの和室の下部を収納に。部屋の広さを維持したまま収納スペースが確保できるのがメリット。子どものおもちゃや、リビングにしまいきれなかったものなどの収納にも便利！



この中には？



● 屋根裏収納

季節限定の使用頻度の 少ない物を収納



扇風機やストーブなどの冷暖房器具や、クリスマスツリーやひな人形など、季節ごとに使用する物の収納に最適。また、洪水や浸水など、万一の災害時には一時避難場所にも。



家族の衣類を一カ所にまとめて収納でき、余計な動きがなくなる分、片付けやすくなり、家事効率がぐんとアップ。



コンセントの設置
あらかじめロボット掃除機の充電場所やLAN/モデム設置などを想定して、収納内にコンセントを設置。



収納の使い分け
絵本などは教育の一環として見せる収納に。雑然としやすい生活用品は隠す収納に。



問題点の把握
現在のお住まいで、収納について困っていることは何か今一度考えて、問題点をリストアップしよう！



収納する物を明確に
収納する物と使用目的を明確にして、固定棚と可動棚を上手に使い分け。

設計士からの
プラン作成時に
考えておきたい
ポイント！



鹿児島支店 設計士
永田 哲郎